



学校
だより

トベラの本

葛城市立新庄北小学校
NO. 4
6月
令和3年6月30日
発行者 校長 杉村茂美

平和について考える～沖縄慰霊の日～

6月23日は、太平洋戦争末期の沖縄戦で犠牲になった方々を悼む「慰霊の日」でした。テレビや新聞等でご覧になられた方も多いと思いますが、激戦地だった沖縄県糸満市の平和公園では、「沖縄全戦没者追悼式」が行われていました。

この日に合わせ、小学校では、戦争について、平和について考える時間を各学級で設けました。また、昇降口には、安里有生（あさと ゆうき）君の詩『へいわってすてきだね』を掲示していました。この詩は、8年前の沖縄全戦没者追悼式で朗読されたものです。小学1年生（6歳）の男の子が平和について真剣に考えた素直な気持ちが表れていると思いますので、その内容をご紹介します。

へいわって なにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともたちと なかよし。
かぞくが、げんき。
えがおで あそぶ。
ねこが わらう。
おなかが いっぱい。
やぎが のんびり あるいてる。
けんかしても すぐ なかなおり。
ちょうめいそうが たくさん はえ、
よなぐにうまが ヒヒーンと なく。
みなとには、フェリーが とまっていて、
うみには、かめやかじきが およいでる。
やさしいところが にじになる。
へいわっていいね。
へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい。
「ドドーン、ドカーン。」
ぼくだんがおちてくる こわいおと。
おなかがすいて、くるしむこども。
かぞくが しんでしまって なくひとたち。
ああ、ぼくはへいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。
へいわな かぞく、へいわな がっこう、
へいわな よなぐにじま、へいわな おきなわ、
へいわな せかい、
へいわって すてきだね。
これからも、ずっと へいわが つづくように
ぼくも、ぼくのできることから がんばるよ。

安里 有生（あさと ゆうき）

今年の追悼式では、中学2年生の上原美春さんが平和の詩『みるく世（ゆ）の謳』を朗読しました。「みるく世（ゆ）」とは、沖縄の言葉で平和な世界という意味だそうです。戦後76年。戦争を知らない世代が大半を占める時代になり、戦争の恐ろしさを語ってくださる方も少なくなってきました。けれども、今を生きる私たちは、戦争の悲惨さや平和の尊さを、子どもたちと一緒に考え続けていきたいと思えます。

学校生活の1ページ～授業風景より～



2年生は、生活科の学習で校区探検に出かけました。例年より規模を縮小しての実施となりましたが、「調田坐一事尼古神社」や「清村さん宅（清村たばこ店）」を訪問させていただき、お話をうかがいました。地域の皆様のお力添えで実現した学びです。ありがとうございました。地域の方々との出会いを通して、地域を知り、地域を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。



4年生は、様々な環境問題について学習します。その一環として、オンラインによる出前授業を実施し、森林の働きについて学びました。森には水を蓄える力や水を浄化する力があること、水は循環していること等を知ることができました。大型画面を通して相手とお互いに会話したり、クイズに答えたりする機会もあり、オンラインならではの楽しい授業となりました。今後、他教科とも関連付けた学びに発展する予定です。



6年生は、理科観察・実験アドバイザーの植田先生にお越しいただき、顕微鏡の授業を受けました。これは、理科好きの子どもたちを育てることを目的に県が実施している事業で、今年度は葛城市にアドバイザーが来てくださることになりました。本校だけでなく市内各校を訪問されるので、回数に限りはありますが、植田先生がご持参くださったアオミドロやミジンコの観察に、児童も担任も目を輝かせていました。子どもたちを惹き付ける授業を教師も一緒に学び、日々の授業に生かしていきたいです。

